

マタイの福音書 第4章 1節

「さて、イエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。」

人々が列をなしヨルダン川でバプテスマのヨハネによりバプテスマにあずかっていた場にイエスも立たれ、人々と同様バプテスマにあずかった。その後、人々から離れ御霊が導かれるまま荒野に上られた。比較的低位を流れるヨルダン川から、高地に上って行きます。悪魔の試みを受けるためです。

荒野に向かったのは悪魔の試みを受けるためです。その背景にはイエスを荒野に導いた御霊のみこころがあります。みこころに従いイエスは荒野に足を踏み入れます。そこには何も無く、誰もいません。悪魔が近づいてくるだけです。誘惑するものが居るだけです。誰一人いないところで誘惑に堕ちても、誰にもわかりません。誘惑され易いところです。

コロナで外出制限が出されたときは通りに人影がありませんでした。生活上では荒野状態であったかもしれません。不安のなかで誘惑が多かったかもしれません。周りにあった人の目が消えて起こる誘惑です。

イエスは御霊に導かれて荒野に立ちます。たとえ、誰も居ないところであっても、御霊の導きがあります。みこころがあります。そこに立ちます。

2023年1月18日